

# 令和3年度瀬戸将棋文化振興協会 事業計画

(令和3年7月1日～令和4年6月30日)

## 1 普及啓発事業

将棋文化の継承と知識の普及向上を図る。

- ・公益社団法人日本将棋連盟支部としての情報発信

## 2 将棋イベントの開催（将棋大会の開催など）

子どもたちを中心に将棋に対する市民意識の更なる高揚、将棋に親しむ人の拡大を図るため、将棋大会をはじめとした将棋イベントを開催する。

- ・「第4回瀬戸こども将棋大会」の開催（令和3年11月6日に予定）

小学生以下を対象、プロ棋士による指導対局なども実施

日本将棋連盟東海普及連合会との連携

- ・詰将棋回答選手権（初級戦・一般戦）の瀬戸市における大会を開催（令和4年4月に予定）

※詰将棋回答選手権実行委員会が主催、将棋連盟が後援

## 3 人材育成事業

市民に対して、将棋文化の普及、技術の向上を図るとともに、将棋を通じた情報交換や交流によって、将棋の人材育成を図る。

- ・将棋交流会の開催（随時）

初心者将棋指導、地元棋士の活躍の紹介など

※瀬戸こども将棋大会と関連づけを検討する。

## 4 広報・宣伝事業

協会及び瀬戸市の情報を市内外に向けて積極的に発信するため、ホームページ等を活用し効率的な広報・宣伝活動を実施する。

- ・協会や瀬戸市の将棋に関する取り組み、地元棋士に関する情報を発信

- ・将棋界への期待、地元棋士への応援メッセージなどを将棋連盟などに届ける仕組みの検討

※市シティプロモーション課と連携する。

## 5 地元棋士の応援

地元棋士の活躍を市内外に広く知らせるとともに、市民等による応援の気運を高めるための取り組みを行う。

- ・棋戦観戦会（パブリックビューイング）の開催

タイトル戦を中心に地元棋士の対局を観戦し、応援を行う。

- ・タイトル防衛や獲得に関するお祝い事業の開催

記念の写真パネル展などを開催する。

※地元棋士応援委員会における作業部会を編成、商店街等との連携を進める。

※将棋連盟（関西支部、東海普及連合会）との連携を検討していく。

## 6 その他

### ・ 会員向け記念品の作成

瀬戸ならではの将棋に関する記念品を作成する。

※地元棋士応援委員会の作業部会を中心に検討する。

### ・ 「将棋文化振興自治体全国将棋サミット」参画自治体からの情報収集

市シティプロモーション課との連携し、積極的に将棋に取り組んでいる各自治体からの情報を収集する。

### ・ 情報発信拠点の検討

将棋文化に関する情報、地元棋士の活躍に関する情報を発信し、誰もが立ち寄れ、将棋文化の振興につながる拠点の設置について検討していく。

令和3年度瀬戸将棋文化振興協会収支予算  
 (令和3年7月1日令和4年6月30日)

【収入】		(単位：円)	
項目	本年度予算額	前年度予算額	備考
会費	2,464,000	2,150,000	正会員450名(一般292名、女性・学生158名) 賛助会員53口
負担金	500,000	400,000	文化振興財団負担金(将棋大会)
補助金	500,000	210,000	瀬戸信用金庫地域振興協力基金(将棋大会)
事業協賛金	200,000	200,000	企業等協賛金
寄付金	1,000	1,000	一般寄付
事業収入	200,000	505,000	こども将棋大会・詰将棋大会等
雑収入	1,000	1,000	預金利息等
繰越金	595,978	417,374	前年度繰越金
合計	4,461,978	3,884,374	
【支出】		(単位：円)	
項目	本年度予算額	前年度予算額	備考
謝礼	200,000	100,000	将棋指導等謝礼
報償費	500,000	500,000	将棋大会等参加記念品・会員記念品等
消耗品費	200,000	200,000	事務用消耗品等
印刷製本費	200,000	150,000	チラシ・ポスター等
食糧費	50,000	10,000	お茶代等
手数料	200,000	180,000	将棋大会等看板代等
備品費	100,000	100,000	備品等
郵送費	400,000	300,000	郵便料金等
委託料	1,300,000	1,300,000	こども将棋大会・詰将棋大会・応援事業等
負担金	1,253,000	1,080,000	日本将棋連盟支部会費、愛知県支部連合会会費、文化協会・観光協会会費等
雑費	158,978	64,374	お祝いくす玉等
合計	4,461,978	3,884,374	